

## 第1回碧南市文化財保護審議会 会議録

### 1 日時

令和8年5月12日（火）午後1時30分から2時30分まで

### 2 場所

碧南市藤井達吉現代美術館 地下1階 多目的室B

### 3 出席者及び欠席者

- (1) 出席者（6名） 会長 北村恒、副会長 磯貝国雄、委員 岩田敏也、  
委員 石川博章、委員 兵藤俊宏、委員 林口宏
- (2) 欠席者（1名） 委員 曲田浩和
- (3) 事務局職員（7名）教育長 小澤徹、教育部長 岡本和雄、  
藤井達吉現代美術館 副館長 木村理恵子、事務長 山田光則、  
課長補佐 豆田誠路、文化財係学芸員 加藤大地

### 4 傍聴者 0人

### 5 議題

- (1) あいさつ
- (2) 委員の委嘱について
- (3) 委員及び事務局職員の紹介
- (4) 副会長の指名について
- (5) 議題

#### ア 協議事項

- (ア) 令和8年度事業計画（案）について（資料1）
- (イ) 令和8年度文化財展について（資料2）
- (6) その他連絡事項

### 6 議事の要旨

- (1) あいさつ（小澤教育長、北村会長）
- (2) 委員の委嘱について
- (3) 委員及び事務局職員の紹介
- (4) 副会長の指名について

碧南市文化財保護条例第7条第2項の規定により「副会長は会長が指名する」こと

から、北村会長が磯貝委員を副会長に指名した。

(小澤教育長・岡本教育部長、ここで公務のため退席)

## (5) 議題

### ア 協議事項

#### (ア) 令和8年度事業計画(案)について(資料1)

事務局が会議資料に基づき、令和8年度事業計画(案)について説明した。審議の結果、委員の協議内容を踏まえ進めていくことで了承された。

#### <主な意見・質疑>

【A委員】「熊野神社 射小屋並に南山・矢取塚」(県指定文化財)のうち南山については、雨風が当たり傷みやすいので、時々修理しなければならない物件である。今回は壁表面の傷みを左官業者が修理する種類になる。県としては修理の竣工検査をするが、市文化財保護審議会委員として、修理途中の段階でも見て指導したいと思っている。今後もなかなか維持管理が大変だが、県市の補助金を得ながら保存活用される物件だと思う。

歴史系企画展「称名寺と時宗の宝物展」の称名寺は、県内でも珍しい時宗寺院で、その本堂も時宗独特の形式がある。

そういった建造物などを寺宝という形で紹介されるのは、以前に歴史的建造物調査の対象で調べた甲斐があるので、是非活用していただければと思う。

【B委員】熊野神社は、今回の修理でどれくらい持つものなのか。

【A委員】南山の屋根はもともとほとんどなく、雨がそのまま当たる。そのため修理には、屋根を大きく載せ替える案や、南山を大きく囲む覆いを上に付ける案もあるが、それに補助金が出るかという点で難しい。そのため、できる限り今の状態を維持しながら、そのつど修理するという形になるのでは。また、射小屋は県内で残っているところがほとんどない。愛知県は結構弓道が盛んなところで、高校にも弓道部があり、結構全国的に活躍していると聞くので、そういう地域の文化財として重要である。ただ、いずれ修理が必要になると思うので、文化財所有者・管理者の方には、その準備、心構えをしていただく必要があるかと思う。

【C委員】多少記憶違いがあるかもしれないが、木造聖観音菩薩立像(称名寺所有、県指定文化財)の修理に関連して、昔岡島良平氏(元市文化財専門委員会委員長)から聞いた話がある。昭和20年代終わりに市文化財専門委員会の招きで石田

茂作先生が称名寺に調査に来られた（昭和28年8月11日に上野博物館学芸部長・文学博士の石田茂作氏が来寺（『碧南史料研究』3、事務局補足））。その調査後、その像の厨子が修復され、内側の貼替に伴い、剥がされた廃棄予定の箔の貼られた和紙の一部を藤井達吉が貰ったそうで、それを使ったとみられる藤井達吉の作品（継色紙）を今でも見かけことがある。そんな余談を披露しておく。

(イ) 令和8年度文化財展について（資料2）

事務局が会議資料に基づき、令和8年度文化財展（案）について説明した。審議の結果、委員の協議内容を踏まえ進めていくことで了承された。

<主な意見・質疑>

【A委員】原画は大体昭和30年代ぐらいの様子なのか。これを見る方たちの年帯層を意識して、紹介のしかたを考えて欲しい。

【事務局】昭和20年代から30年代とみられるものが多そうだが、厳密には分からない。ただ、描かれた情報などから、できるだけ実証的に調べていきたい。

【B委員】原画の保管状況は。

【事務局】「広報へきなん」に長く連載された「碧南一家」の作者の原画ということで、普段は碧南市役所で管理されているが、現在は展示準備のため借用中である。今後も適切に保管されるよう、担当部署と調整していきたい。

【B委員】「碧南一家」の原画はあるか。

【事務局】市役所にはなさそう。この機会に所在を確認したい。

(6) その他連絡事項

ア 市民図書館中部分館の廃止後の建屋を有効に活用する提案の募集

市が今月、碧南市民間提案制度で募集を始めたテーマの一つに、市史資料調査室が入っている市民図書館中部分館（昭和44年建設）に関する募集がある。

イ 前年度末に刊行された市史料第75集「押え瓦」と市史料別巻14「隣り合って生きる」の紹介

市史料第75集「押え瓦」編著者の石川委員が同書について概要を説明した。また市が所有する押え瓦1点を会場に用意し、委員が観覧した。